

# 資料 6

第7期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価書（令和2年度上半期）

## （1）地域包括ケアシステムの推進

評価項目	分野	目標値	実績値	達成度
1. 地域包括支援センターの適切な運営				
①地域包括支援センター間の連携を図る会議の開催数（回） ※年間合計	介護	13	6	B
		定期的に開催することができており、役割を果たしている。		
2. 地域包括支援センターの運営に対する適切な評価				
②地域包括支援センター運営協議会開催数（回） ※年間合計	介護	3	1	B
		定期的に開催することで、地域包括支援センターを適切に評価している。		
3. 身近な地域の見守り・支えあいネットワークの充実				
③高齢者が集う場の開設数（ヶ所） ※累計値	住まい 地域	未設定	3	A
		目標設定当初未設定となっていたが、「高齢者が集う場」の定義付けができ、高齢者が集う場の適切な設置につながった。		
④地域サロン等応援事業の派遣講師登録者数（人） ※累計値	住まい 地域	36	31	C
		感染症対策により実施を中断していた期間があったため新規登録者数が伸び悩んだ。		
⑤見守りネットワークの協定事業者数（件） ※累計値	住まい 地域	70	63	B
		新規登録者数は伸び悩んだが、現在の協定事業者との間で新たな取り組みができ、事業内容が向上できた。		

- A 達成できた（100%以上）  
 B おおむね達成できた（70%以上）  
 C 普通（40%以上）  
 D あまり達成できなかった（40%未満）

総合評価

B

（裏面へ続く）

#### 担当部署評価

地域包括支援センターが地域包括ケアシステムの推進において重要な役割を果たしており、上半期においても必要な機能が果たしていることがわかる結果となった。身近な地域における見守り・支え合いの一部の取組において、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施できない等課題が上がったため、新しい生活様式における在り方を検討したい。

#### 評価委員会評価

各事業上半期の実施内容について議論し、総合評価をBとした。

③について、身近な地域における見守りという観点から考えると、通いの場は各地域に複数、歩いていける距離にあるべきだ考える。また、①において、ウェブ会議の体制を整えるという記載があったが、計画としてこうした体制の構築を後押しできるような内容を記載できるとよいのではないかと感じた。